

愛知の誇る農林水産物 **ウナギ**



主要産地：西尾市、豊橋市、高浜市

ウナギを食べて夏バテ知らず！
うまさ満点！スタミナ鰻点！！

(生産量：全国2位)



2024年7月17日(水)
愛知県農業水産局水産課
資源・栽培グループ
担当 長谷川、深澤
内線 3791、3790
ダイヤル 052-954-6461

2024年度の知事名刺

うし
夏だ！土用の丑の日だ！愛知県産「うなぎ」をPR！
～知事がうなぎ料理を試食します～

愛知県では、知事の名刺を使った農林水産物のPRを行っており、8、9月はうなぎを掲載します。

愛知県は、うなぎの養殖が盛んで、2023年のうなぎ養殖生産量が全国2位です。

7月24日(水)と8月5日(月)は土用の丑の日。柔らかくて美味いうなぎが出荷の最盛期を迎えています。また、生産者は資源保護に取り組みながら、しらすうなぎ(うなぎの稚魚)を大切に育て、伝統的な食文化の継承に貢献できるよう努力しています。

土用の丑の日に、愛知県産うなぎのPRのため生産者団体の代表が知事を訪問し、愛知県産うなぎの魅力を紹介しますので、お知らせします。

1 日時及び場所

○日時 2024年7月24日(水) 午前11時40分から正午まで

○場所 愛知県公館

2 訪問者(敬称略)

○愛知県養鰻漁業者協会

会長 山本 浩二 (一色うなぎ漁業協同組合長)

副会長 花井 章浩 (豊橋養鰻漁業協同組合長)

○豊橋市 市長 浅井 由崇

○西尾市 産業部長 渡辺 英昭

3 内容

- (1) 訪問者挨拶
- (2) 知事によるうなぎ料理(白蒲重等)の試食
- (3) 歓談
- (4) 記念撮影



白蒲重

1 土用の丑とうなぎ

うなぎは栄養価が高く、疲労回復に効くビタミンA、B1、EやEPA（エイコサペンタエン酸）、DHA（ドコサヘキサエン酸）などが豊富に含まれている。

夏の土用の丑の日にうなぎを食べる習慣は、「丑の日に『う』の字が付く物を食べると夏負けしない」という言い伝えからヒントを得た平賀源内の発案により、江戸時代から広まったといわれている。今年の夏の「土用の丑」は、7月24日（水）及び8月5日（月）である。

2 愛知県の養鰻業の現状

2023年の本県の養殖うなぎ生産量は、3,810トン（過去3年平均比83%）である。本県生産量は全国第2位となっており、全国シェアは21%である。本県では、西尾市、豊橋市などでうなぎ養殖業が営まれている。

2024年漁期における、5月末時点の池入れ^{※1}は、割当量^{※2}の75%にあたる3,768kgとなっている。

※1 池入れ：しらすうなぎを養殖池に入れること

※2 池入れ割当量：国により決められた、池入れすることができるしらすうなぎの総重量の上限

<2023年 養殖うなぎの生産上位県>

	県	生産量	全国シェア
1位	鹿児島県	7,852トン	43%
2位	愛知県	3,810トン	21%
3位	宮崎県	3,342トン	18%
4位	静岡県	2,255トン	12%
	全 国	18,294トン	—

（出典：農林水産統計 第一報）

<養鰻業の経営体、生産量、産出額の推移>

年		2000	2018	2019	2020	2021	2022	2023
愛知県経営体数		203	133	127	125	125	120	118
生産量	全国（トン）	24,118	15,111	17,071	16,806	20,673	19,167	18,294
	愛知（トン）	8,317	3,459	4,357	4,315	5,288	4,205	3,810
	全国比（%）	34	23	26	26	26	22	21
愛知県産出額（億円）		83.9	153.3	189.3	169.8	194.0	195.9	—
単価（円/kg）		1,009	4,432	4,344	3,934	3,669	4,659	—

（出典：生産量は農林水産統計、その他は水産課調べ）

3 県の養鰻振興策（県水産試験場の取組）

県水産試験場は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構^{※3}（以下、水研）等と協力し、しらすうなぎを人工的に生産する技術の開発に取り組んできた。1991年には、人工的に雌にした親から採った卵のふ化に、世界で初めて成功している。近年は、雌うなぎの育成技術の開発や、人工種苗の生産に必要な餌の開発等に取り組んでいる。

2021年度には、一色うなぎ漁業協同組合（西尾市）等と共同で、ほとんどが身の固い雄に育つ養殖うなぎを、大きくても身の柔らかい雌に育てる技術の開発に成功した。この技術で生産したうなぎをブランド化するため、「あいちの、おおきな、おいしいうなぎ」の頭文字を取って「葵^{あおい}うなぎ」と命名した。

また、2021年度に水研と共同で、従来の液状飼料よりも保存、給餌などの省コスト・省力化が可能な乾燥粉末飼料を開発した。2024年度からはこの乾燥飼料を用いた種苗生産技術の実用化に向け、従前よりも規模を拡大して実証試験を行う。

※3 国立研究開発法人 水産研究・教育機構：

神奈川県横浜市に本部がある水産分野における国の研究・教育機関

4 愛知県養鰻漁業者協会

（1）組織

- ・設立：1972年9月
- ・会員数：108名（2024年4月）
 - 一色支部（主に一色うなぎ漁協）：91名
 - 東三河支部（主に豊橋養鰻漁協）：15名
 - 海部支部：2名
- ・会長：山本 浩二（一色うなぎ漁協組合長）
- ・事務局：愛知県漁業協同組合連合会
- ・所在地：名古屋市中区丸の内三丁目4番地31号
- ・電話：052-971-3501（ダイヤルイン）

（2）事業内容

愛知県産うなぎの消費拡大のための啓発普及、資源増大のための親うなぎ放流、しらすうなぎの安定確保並びに流通の適正化を図るための調査、養鰻技術向上のための支援などを行っている。